

製品・サービス動向-国内

■メディアプラス：ハドルルームやテレワークでの使用に適したStarLeaf社のビデオ会議システム「StarLeaf Huddle」発売、オンラインデモも実施中

(オンライン取材：6月4日)

株式会社メディアプラス (<https://www.mediaplus.co.jp/>) (東京都千代田区) は、ハドルルームやテレワークでの使用に適したStarLeaf社のビデオ会議システム「StarLeaf Huddle(スターリーフハドル)」の販売を開始した。メディアプラスはStarLeaf社の国内代理店。



StarLeaf Huddle(メディアプラス)

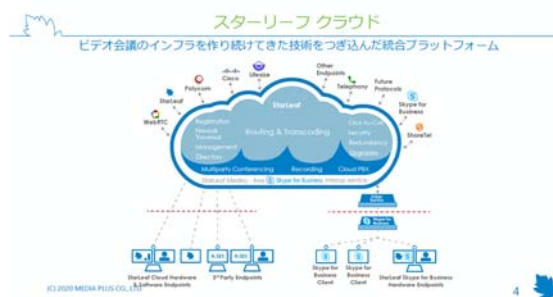
StarLeaf社は、多地点接続装置(MCU)専門メーカーCodian(コーディアン)社を立ち上げたメンバーが2008年英国にて、クラウドサービスをベースとした「誰でも簡単に使える」「相互接続性に優れる」を実現するビデオ会議メーカーとして設立。

設立から4年後の2012年には、メディアプラスと国内代理店契約を締結。それからハイエンドからデスクトップまでの製品を次々とリリースし、2017年には、設立以来、初めて外部からの資金調達を実施。それを元手に、相互接続性に優れ強固なセキュリティをベースにしたグローバルデータセンターネットワーク

の整備や世界各国でのビジネスをさらに加速している。

また、2020年4月の同社からの発表によると、「2020年2月時点のビデオ会議通話量が2カ月後の4月には10倍になった。年間に換算すると25億分に相当する。」(StarLeaf社) コロナウイルスの感染拡大は、同社にとっても前例のない需要を生み出している。

現在、StarLeaf社は、クラウドサービス「StarLeaf Cloud」をベースに、テレビ会議・Web会議・インスタントメッセージグループチャット・といったビジネスコミュニケーションに必要な機能をすべて統合したサービスと製品パッケージを提供している。シンプルに手軽に使うことのできるのが設立以来一貫した強みだ。



StarLeaf Cloud(メディアプラス)



StarLeaf ハードウェアエンドポイント (メディアプラス)

具体的には、チャットや会議予約が行えるスマートフォン・タブレット・PC向けのアプリ「StarLeaf App」

のほか、ルームシステムに位置づけられる、小規模から中規模会議室向けの端末「GT mini」、インテグレーションも可能な大規模会議室向け「Group Telepresence」がある。そして今回日本で発売となったハドルルーム向け「StarLeaf Huddle」の追加。モバイルから会議室までカバーしているラインナップを用意している。

StarLeaf Huddle は、女性でも両手で持てるくらいの大きさと重さの箱に梱包されている。「使うたびに会議室に持っていくことも、あるいは、テレワーク用途で社員宅へ宅配で送付してセットアップして使うということもできる。」（メディアプラス）

箱の中には、高画質 Web カメラ、USB マイクロフォン、Huddle 本体(コーデック内蔵タッチパネル)、Cable Dock、Pronto (資料共有用 USB ケーブル) などケーブル一式が入っている。

セットアップは至って簡単だ。カメラやマイク、本体、ビデオ会議で使うディスプレイ、ネットワークを、同梱のケーブルで、Cable Dock とつなぐのみ。「IT の知識はいらない。」（メディアプラス）



StarLeaf Huddle(メディアプラス)

そして電源を入れれば自動で StarLeaf のクラウドサービスに接続し、ログオン (StarLeaf クラウドに接続しいつでもビデオ会議が行える状態を指す。) する形。通常は工場出荷時にユーザごとの基本的な設定は行われていることが多いため、実際のユーザが行うことはつないで電源を入れるだけだ。パソコンに USB

ケーブルや HDMI ケーブルなどをつなぐ感覚と同じだろう。

ログオンするための初期設定も IT 管理者は不要。たとえば、オンライン通販でクレジットカードを登録するよりも簡単。StarLeaf 社から割り当てられた 12 桁の数字をタッチパネル上の画面に入力してボタンを押すだけ。そうすると端末が自動でネットワークを通してクラウドにアクセスし認証手続きを行う。クラウドから認証されるとログオン状態になる。認証はほぼ瞬時に終わる。

そして一旦ログオンすると、クラウド上に登録されている電話帳リストを画面上で参照し、また検索することができるようになる。この StarLeaf では、以前ビデオ会議で一般的だった IP アドレスなど入力するというようなことは一切なく、相手とビデオ会議を始めるためには画面上の名前をタッチするだけだ。名前をタッチすると即座につながる。

仕組みとしては、クラウドサービスであるため、電話帳リストは端末ごとに保持されているのではなく、クラウド上で一括管理された形になっている。そうすることで最新のリストを維持することができるとともに、ユーザが登録する手間をはぶく、といったようなメリットがある。

「ログオンの設定情報はクラウドから自動的に行う仕組み。現場でのエンジニアリング作業は不要だ。箱から出してケーブルをつなぐだけで 5 分もあればビデオ会議が始められる。」（メディアプラス）



StarLeaf App(メディアプラス)

また、会議の予約は、StarLeaf App で行えるようになっており、予約した会議は、Pronto (プロント) という USB ケーブル (同梱、オプション購入も可能) でパソコンと StarLeaf Huddle を Cable Dock 経由で接続することで、StarLeaf App 上に保持されている会議予約データを StarLeaf Huddle の方に集約することも可能となっている。StarLeaf App でのビデオ会議を StarLeaf Huddle の方に移行する際などに便利な機能。

加えて、Pronto には資料共有機能というもうひとつ重要な機能もある。こちらが本来の機能だが、Pronto を先ほどと同じようにパソコンと StarLeaf Huddle をつなぐことで、パソコンの資料をビデオ会議参加者との間で共有することもできるようになっている。こちらも、つなぐだけで資料共有が行える簡単さとなっている。

メディアプラスは、コロナウイルスの影響もあり、新製品 StarLeaf Huddle のデモをオンラインで実施している。デモ希望者は、StarLeaf App をパソコンなどにダウンロードし、StarLeaf クラウド上に作成されたビデオ会議室でメディアプラスからのデモを受ける形になっている。実際、CNA レポート・ジャパンの橋本も今回の記事執筆に際してオンラインでのデモに参加した。

実際に予定された時刻に StarLeaf App で会議室に入ると、メディアプラスの担当者のほか、会議室に用意された StarLeaf Huddle やディスプレイなどが画面上から見えた。パワーポイントでの説明なども交えながら、会議室に設置された PTZ カメラを通して、同社のスタッフが箱を開けて各機器を紹介したり、機器同士をケーブルでつないだり、StarLeaf Huddle の画面上で初期設定を行ったり、ビデオ会議接続や資料共有なども行ったのを拝見できた。その様子をメディアプラス側では必要なところにカメラでフォーカスやズームしたり、その際に橋本が質問したりと、終始わかりやすいデモであった。メディアプラスではオンラインデモ

の予約を現在受付している。

「デモというと弊社オフィスまで足を運んでいただくことが多かったが、このオンラインデモで、移動が不要になったり、遠方の方にも StarLeaf 製品が紹介できる。提案先の幹部の方に数分だけオンラインデモを見ていただくことも可能になった。オンラインデモの良さも実感している。」(メディアプラス)

■サイバーリンク：最大 12 名のタイル表示が可能な Web 会議サービス「U ビジネスコミュニケーションサービス」Ver.5.8 をリリース

(6月1日)

サイバーリンク株式会社 (https://jp.cyberlink.com/index_ja_JP.html) (東京都港区) は、同社が提供する Web 会議サービス/オンラインセミナーサービス/ビジネスチャット「U ビジネスコミュニケーションサービス」の最新版 Ver.5.8 を発表した。



U ミーティング (サイバーリンク)

U ビジネスコミュニケーションサービスは、初期費用コストゼロ、サーバーなどの管理不要、専門知識不要を特徴としており、Web 会議システム「U ミーティング」、ビジネスチャット「U メッセンジャー」、ライブ/オンディマンド配信「U セミナー」、AI/AR 搭載の背景ぼかし機能・バーチャルメイク機能「PerfectCam」を提供している。

Ver.5.8 において主な新機能は以下の通り。

(1) U ミーティング：Web 会議で PC 版は最大 12 人、モバイル版は 4 人までのタイル表示に対応した。画面左上のアイコンで「プレゼンターモード」「6 分割画面」「12 分割画面」を切り替えることが可能。また、会議中にデスクトップ共有者のビデオ画面を表示し、他の参加者が話すと自動的に切り替わる（対話性の向上）。



デスクトップ共有モードで発言者の映像表示
(サイバーリンク)

その他では、デスクトップの共有モードで参加者リストの表示やマイクをミュート/ミュート解除 (Ver.5.5) などがある。

(2) U セミナー：セミナーの配信終了後に、自動的にビデオとチャット履歴がローカルハードディスクに保存される。



チャット内容をローカルハードディスクに保存
(サイバーリンク)

その他では、ワンクリックでマイク/カメラミュート (Ver.5.8)、声による質疑応答で配信ユーザと話しているユーザ名の表示 (Ver.5.7)、参加者がセミナーVoDを再生中にチャット履歴を表示 (Ver.5.6) などがある。

(3) U メッセンジャー：チャットルーム通知を設定して過去のメッセージを閲覧することが可能

(Ver.5.7)。

なお、Web 会議サービス「U ミーティング Pro 50」を、2020 年 6 月 30 日まで特別価格で提供している。

サイバーリンクは台湾に本社を置くコンピュータ・ソフトウェアメーカーCyberLink 社 (1996 年設立) の日本法人。日本法人は 1998 年に設立され、日本のマーケットに向け、マルチメディア関連ソフトウェアの開発を手掛け、主力人気商品の動画再生ソフト「PowerDVD」、ビデオ編集ソフト「PowerDirector」などは多くのハードウェアメーカーにバンドル採用されている。映像の品質に大きく影響するコーデックを中心とした多数の特許を持ち、最先端技術への対応や使いやすさを追求した製品を開発することを目指し、この技術力をもとにして、新たに BtoB マーケットへ向けた U ビジネスコミュニケーションサービスを開発している。

■ギンガシステム：取引先企業との定例会議や業務の打ち合わせができる「遠隔面談スタートパック」を開始

(6 月 1 日)

ギンガシステム株式会社 (<https://ginga-sys.jp/>) (東京都渋谷区) は、簡単テレビ会議システム「LoopGate (ループゲイト)」で顧客企業や取引先企業との定例会議や業務の打ち合わせができる「遠隔面談スタートパック」を開始する。



遠隔面談スタートパック (ギンガシステム)

遠隔面談スタートパックは、取引先企業にシステムに詳しい人がいないのでテレビ会議システムを設置できない、導入したい企業の担当者もシステムに詳しくないためセットアップの対応ができない、無料のWeb会議を使ってみたが、映像・音声トラブルの解決ができなかった、などの要望に応える。

同社では、テレビ会議の映像・音声の品質やコストなど、顧客の状況に合わせた提案と、手厚いサポート体制を整え、ユーザが取引先企業との面談に専念できるよう、今回遠隔面談スタートパックを提供開始することにした。

「LoopGate 専用機」、「LoopGate for PC」、「LoopGate for Tablet」に、スピーカーマイクなどをニーズに応じて組み合わせて提供する。加えて、電話によるテクニカルサポートや導入支援プログラム「THE FIRST 3 PROGRAM」なども提供する。THE FIRST 3 PROGRAMは、初めの3回の会議準備をサポートするもの。導入担当者に成り代わり、実際に利用する各拠点のユーザにLoopGateの使い方のコツを案内する。

■マルジュ:Web 面接システム「SOKUMEN」 に電子契約（電子サイン）機能を追加、業界初、オンライン上で雇用契約も可能

(6月2日)

株式会社マルジュ (<https://www.maru.jp/>) (東京都豊島区)は、Web 面接システム「SOKUMEN」に電子契約（電子サイン）機能を追加したと発表。



SOKUMEN 電子契約機能（マルジュ）

電子契約機能とは、Web 上で契約を締結できる機能。Web 面接システム業界では初という。SOKUMEN で面

接をしてそのまま雇用契約までといった使い方が可能となった。

これまでは、Web 面接を利用して採用活動を進めていった場合、最終的に雇用契約を結ぶ際には契約書にサインをしてもらうため来社してもらう必要があった。今回、電子契約機能を追加することで、雇用契約もオンライン上で完結することができるようになったため、採用における時間的・金銭的成本を削減できるという。

SOKUMEN は、スマートフォンやタブレットでもアプリが不要で、ログインや登録も必要がない。URL ワンクリックですぐに面接が開始される仕組みになっている。データ通信量も業界最小レベルという。

SOKUMEN の特徴は、求職者が Web 面接を嫌がる理由を徹底的に排除している点。他者で採用選考が進んでしまう前に素早く求職者を取り込むことができるとしている。

同社によると、最近では、SOKUMEN を Web 会議ツールとして活用するなど、リモートワークでも使えるツールとして提案しているという。通常料金は、初期費用無料、サポート無料、19,800 円（税別）/月で利用するため、接続時間や接続回数などにしぼられず利用できる。

■ネオラボ:自治体向けサービスとして Web 会議システム「Calling for Government」の提供を開始

(PRTIMES:6月2日)

株式会社ネオラボ (<https://neo-lab.co.jp/>) (東京都新宿区)は、自治体向けのサービスとして、Web 会議システム「Calling for Government」の提供を6月3日から開始する。

Calling は、URL をワンクリックするだけでつながる簡単なシステム。画面共有、録音録画、ホワイトボード、アンケートなど対面の会議と変わらないコ

コミュニケーションが可能となっている。なお、スマートフォンやタブレットは専用アプリを使う。

今回発表された Calling for Government は、通常の Calling の Web 会議システムの基本機能に加えて、行政向けの機能として「音声テキスト化機能」を追加しリリースしたものだ。

音声テキスト化機能では、音声認識を用いて従来の方法よりも効率的に議事録を作成することが可能となっている。テキスト化された内容は、Calling の管理画面内の議事録データから確認できるようになっている。保存された内容は編集やダウンロードが可能。

国産の Web 会議システム Calling は、多くの企業に社内会議から営業・顧客対応、採用といった場面で「業務のインフラ」として幅広く活用されている。コロナウイルス感染症の影響で、地方自治体や行政団体からの問い合わせが多いという。また、奈良県三宅町、兵庫県養父市、宮崎県延岡市などへの導入実績もある。そこで行政における働き方や多くの住民サービスをサポートするために今回 Calling for Government を発表した。

※「音声テキスト化」機能ご紹介動画

<https://www.youtube.com/watch?v=gzU7XUZryys>

■ソースネクスト：発言者を自動フォーカスする会議室用 Web カメラ「Meeting Owl Pro」を7月に発売

(6月3日)

ソースネクスト株式会社 (<https://www.sourcenext.com/>) (東京都港区) は、4月に Owl Labs 社 (米国) が開発する会議室用 Web カメラ「Meeting Owl」の国内独占販売権を取得し、7月31日に「MeetingOwl Pro (ミーティングオウルプロ)」を発売する。「Meeting Owl」シリーズは米国を中心に 35,000 社以上の企業で利用されている。



Meeting Owl Pro © 2020 Owl Labs

(ソースネクスト)

Meeting Owl Pro は、「Owl Intelligent System」という AI 機能を備え、360° カメラ (1080p フル HD) ・ Smart マイクシステム・スピーカーを搭載した会議用 Web カメラ。

会議室の全体を映し出すとともに、発言者を自動認識し、映像にも音にもフォーカスする。カメラの有効認識範囲は半径 2.5m で、マイクは 1 台で計 8 個搭載され、半径 5.5m まで認識できる。スピーカーは 3 個搭載されている (76dB SPL@1m)。

本体は USB で PC に接続し、専用アプリ (iOS/Android) で端末を登録するだけで準備できる。マイクもスピーカーも一体型として搭載しているため、複数の機器を別々に設定するような手間がない。



Meeting Owl Pro で捉えた会議参加者の映像

© 2020 Owl Labs (ソースネクスト)

推奨会議室サイズは、約 4.5m x 約 6m。本体は会議室のテーブルに置くのが通常の使い方。それにより、Meeting Owl Pro が捉えた映像を見ている相手から見

ると、会議の中心にいるように全体を見渡せるし、人の距離が近く、表情もよく捉えられる利点がある。また、カメラの向きを固定して使用することもできる。ホワイトボードを使用する会議などに便利という。

対応する Web 会議システムは、「Zoom」「Google Meet」「Microsoft Teams」「Skype for Business」「Cisco Webex Teams」「Lifesize」「Go To Meeting」など主要サービスに対応している。

本体の重量は約 1.2kg。本体サイズは、約 111mm x 厚み 約 111mm x 高さ約 273mm。

価格は 115,000 円（税別）。6 月 3 日から発売前日の 7 月 30 日までの期間に予約すると 5,000 円引きで購入できる先行予約キャンペーンを実施する。返品フリーサービスで、購入後 30 日間は 100%返金保証となっている。

ソースネクストでは、翻訳機、ソフトウェアと並ぶ第三の事業の柱として、テレワークのためのさまざまな製品の提案を行っている。本製品は、同社が取り扱うテレワーク関連製品の第 5 弾で、今後もさまざまな製品の提供を進めていくとしている。

■ リコー：4K 対応「RICOH Interactive Whiteboard」新製品 3 機種を発売

（6 月 4 日）

株式会社リコー (<https://jp.ricoh.com/>)（東京都大田区）は、「RICOH Interactive Whiteboard」の新製品として、画面サイズが 55 インチの「RICOH Interactive Whiteboard D5530」、65 インチの「RICOH Interactive Whiteboard D6520」、75 インチの「RICOH Interactive Whiteboard D7520」の 3 機種を 6 月 12 日に発売する。価格はオープン。

いずれの機種も 4K (3840x2160) 対応の高精細なディスプレイを搭載し、タッチセンサーには視差が少ない InGlass 方式を採用している。またディスプレイ操作キーのフロント配置、人感センサーの標準搭載、

入出力端子の最適配置など、高精細なディスプレイや心地よい筆記感にとどまらず、使いやすさに磨きをかけている。さらに本体は狭額縁のシンプルでスタイリッシュなデザインとし、従来機種よりも薄型・軽量化した。



RICOH Interactive Whiteboard D5530（リコー）

加えて、今回の新製品からは新たに IP5X 相当の防塵仕様となっている。オフィスや教室だけでなく、工場や建設現場、物流倉庫など幅広いワークプレイスで利用することが可能となっている。

その他、リコーのテレビ会議システムやワイヤレスプロジェクションデバイス、デジタルサイネージなどの自社製品のみならず、クラウドアプリケーションを介して「Microsoft 365」など多様な製品・サービスと連携し、クラウドを介してのファイル参照や保存を実現するなども行える。

■ デルと EMC ジャパン：スピーカーフォンを統合したマルチポートアダプター「Dell モバイルアダプタースピーカーフォン MH3021P」を発売

（6 月 5 日）

デル株式会社 (<https://www.dell.com/ja-jp>)（神奈川県川崎市）と EMC ジャパン株式会社（東京都渋谷区）は、「Dell モバイル アダプタースピーカーフォン MH3021P」を 6 月 5 日より発売する。デルと EMC ジャパンは、デル・テクノロジーズの日本における事

業を展開する二社。



MH3021P (デル・EMC ジャパン)

MH3021P は、スピーカーフォンを統合したマルチポートアダプター。マイクとスピーカーを搭載しているほか、複数の USB (Type-C と Type-A) と HDMI ポートを備えている。自宅でもオフィスでも使えるコンパクトで持ち運びに便利(携帯ポーチ付き)、ドライバーは不要で接続してすぐに使用が可能。

USB-C 電源パススルーに対応しているため、ディスプレイ (4K 出力が可能) やキーボード、マウスを接続しながらノート PC を充電 (最大 90W 電力供給) したり、同時に Web 会議に参加したりすることもできる。なお、Zoom や Microsoft Teams、Cisco Webex、Google Hangouts などをはじめ主要な Web 会議に対応している。

内蔵のスピーカーフォンには、全指向性マイクロフォンで 360 度の音声を拾うことができ、エコーキャンセルとノイズリダクションで、いつでも極めてクリアな通話を実現できるようになっている。また、本体のボタンを使用して、通話開始・終了・ミュート/ミュート解除・音量の操作が行える。

販売価格は 21,600 円 (税抜き、送料込み)。

なお、6 月 12 日、デルと EMC ジャパンは、8 月 1 日付で合併しデル・テクノロジーズ株式会社となることを発表している。

■バイキューブ：シャノンと企業のオンラインセミナー実施を支援するサービス連携を提供開始

(6 月 2 日)

株式会社バイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都港区) と株式会社シャノン (<https://www.shanon.co.jp/>) (東京都港区) は、企業の効率的なオンラインセミナー開催を支援するサービス連携を 6 月 2 日より提供開始する。

昨今、新型コロナウイルスの影響でイベントなどの中止や延期により、オンラインセミナーへと切り替える企業も増えてきている一方で、開催にあたっての告知などの準備から、撮影・配信、実施後のコンテンツ公開やフォロー、次回開催準備など運営担当者の負担も大きくなってきている。

バイキューブのオンラインセミナーサービス「V-CUBE セミナー」と、シャノンが提供するセミナー管理システム「SHANON MARKETING PLATFORM」を組み合わせ、オンラインセミナー開催準備からライブ配信、終了後の参加者フォローまで一連の業務効率化を支援するサービス連携を実現した。

シャノンが提供する SHANON MARKETING PLATFORM はオンラインセミナー実施に必要な申込フォーム作成から受付管理、受講票発行、来場受付、セミナー資料ダウンロードなどの機能により、セミナー運営・管理に関わる煩雑な作業を自動化している。

また、集客メールには反応したが、オンラインセミナーに申込みしていない人にだけメールを送るなど細かなターゲティング (集客力を強化) も可能となっている。

加えて、セミナー終了後のお礼メールだけでなく、欠席・キャンセル者に講演資料や他日程案内メールを置くなどのフォローメールを自動配信することが可能となっている。

一方、バイキューブが提供する V-CUBE セミナーは

撮影から配信サポートまで含めて実施することができ、2019年は約3,000回の実績がある、オンラインセミナー配信プラットフォーム。視聴者はPC、スマートフォンから専用アプリケーションのインストールをすることなく参加が可能で、ライブ配信時はチャットやアンケートも行える。また、ライブ配信した内容を録画し、オンデマンドコンテンツとして繰り返し受講することもできるようになっている。

また、低コストで手軽に使える「オンライン営業」専用のWeb会議「V-CUBEセールスプラス」を活用することで、オンラインセミナー実施後の参加者へのフォローやオンライン商談することもできる。

今回のサービス連携で、両社の強みを生かし、企業のオンラインセミナー実施に必要なシステムからサポートまで一気痛感で提供が可能となる。

■ブイキューブ：ウィズ・アフターコロナ時代に向けた、新しい働き方を実現するための自治体向けパッケージの提供を開始

(6月8日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都港区)は、ウィズ・アフターコロナ時代に向けた、新しい働き方を実現するための自治体向けパッケージを6月8日より提供開始する。

自治体向けパッケージでは以下のものを提供する。

(1) テレビ会議システム「V-CUBE ミーティング」および映像音響機器。(2) 職場でのソーシャルディスタンスを実現するスマートワークブース「テレキューブ」。(3) 災害対策システムの整備。(4) ドローンによるインフラ点検・災害対策システム。(5) 自治体における窓口サービスの遠隔化。(6) 遠隔診断システムのインフラ整備。

ブイキューブは、国産サービスとして高いセキュリティ、プライバシーポリシー、導入サポート、導入後の電話などによる24時間365日運用サポートなどを

背景に、企業や自治体で多くの導入実績があり、全国の知事が議論する会議のプラットフォームとしても利用されている。また、駅などの公共施設や企業向けのスマートワークブースとしてテレキューブを販売しているほか、新しい生活様式を実現するためのさまざまなソリューションを提供している。

この度、これらサービス導入のノウハウ、実績を生かしながら多くの自治体から寄せられる課題を整理し、求められるサービスや機能、自治体が導入しやすい料金体系・価格を整え、全国の自治体による新しい生活様式への対応を支援する。また、全国にある地元IT企業と連携しながら、自治体の導入・運用サポートも強化していく。

■Aukey Technology 社：デュアルマイク内蔵の1080p Webカメラ、ZoomやSkypeなど動作確認済

(6月11日)



AUKEY PC-LM1E (Aukey Technology 社)

Aukey Technology 社 (<https://jp.aukey.com/>) は、ドライバーは不要でPCのUSBポートに差し込むだけで使える、デュアルマイク内蔵の1080p Webカメラ「AUKEY PC-LM1E」を発売。ビジネス用途でもプライベート用途にでも対応し動画配信やビデオ会議に最適という。

65°の広角レンズに1/2.9インチCMOSセンサーを搭載したフルHD対応Webカメラ。自動HD光補正

機能を備え、光の状態に合わせて微調整し、薄暗い場所でもクリアでシャープな画質を実現する。

また、マイクはノイズキャンセリングに対応した2つのステレオマイクを搭載している。雑音を気にすることなく、はっきりとした音声を伝えられるとしている。

本体はユニバーサルクリップを使って画面にしっかりと固定、または棚やデスクに設置が可能。

「Skype」「Zoom」「Facebook」「Youtube」など主要なソフトでの動作確認済。

■ デージーネット：オープンソースソフトウェア (OSS) をベースにした Web 会議システムの提供開始、1 週間程度で利用開始可能

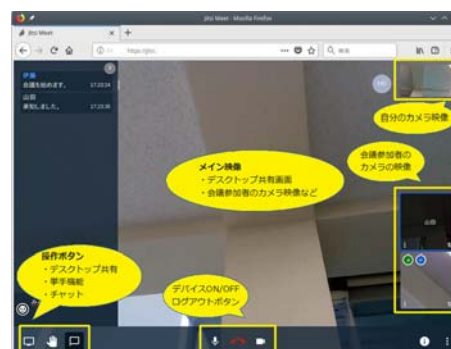
(4月7日)

株式会社デージーネット (<https://www.designet.co.jp/>) (愛知県名古屋市)は、新型コロナウイルス感染症対策としてテレワークなどで利用できる「WEB 会議システム」を、オープンソースソフトウェア (OSS) を使って設定するサービスの提供を開始する。1 週間程度で利用開始できる。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、企業ではテレワークを活用した在宅勤務を強化する動きが広がっているが、同社はこれを受け今回サービス提供を開始する。

オープンソフトウェアとは、無償で利用でき、ソースコードが公開されているソフトウェア。同社では、Jitsi (オープンソースのビデオ会議システム) を使い Web 会議システムを設定する。特徴としては、ウェブブラウザで使用することができるため、発行された URL をクリックするだけで Web 会議に参加できる。またスマートフォンからは Android/iOS 対応アプリ (Jitsi Meet) を使用して Web 会議に入ることができる。また、Web 会議に参加しているメンバーは、自分

の PC のデスクトップ上に開いている任意のウィンドウを他のメンバーに共有することもできる。



デージーネットが提供する Jitsi をベースにした Web 会議システム (デージーネット)

デージーネットの Web 会議システムは OSS (ライセンスフリー) を使って Web 会議システムを設定するため、ユーザ数やルーム数による追加課金はない。初期設置・設定費用とわずかな保守費用のみで利用することができる。

なお、同社の東京営業所では、現在 Jitsi を利用してテレワークを実施している。また、他社に対しても、コミュニケーションツールの一つとして Jitsi を利用した Web 会議システムの構築実績がある。このような構築・運用のノウハウや技術から受注後 1 週間程度で利用を開始できるという。

設置設定費用は 28 万円 (標準モデルの場合)。保守費用は 4 万円/年間。なお、クラウドサービスへの契約料は含まない。

デージーネットでは、OSS を利用したシステムの提案および構築を行っている。同社で利用している OSS は多岐にわたり、ユーザに合った OSS でシステム構築を行うことが可能となっている。導入後支援サービス (Open Smart Assistance) やコンサルティングも提供している。

サービス等無償提供発表企業

コロナウイルスの影響からテレワークや在宅勤務を行う企業などが増えています。そういった企業などを支援する目的で遠隔会議・ユニファイドコミュニケーション提供会社がサービスなど無償提供を行う動きがとくに2、3月に入ってから活発になっています。

ここでは、CNAレポート・ジャパンが3月15日現在（その後3月31日も追加しています）把握した、無償提供もしくは機能拡張などのプレスリリースを行った提供会社の名前とURL（ホームページもしくは当該ページ）を掲載します。各社期間限定となっています。詳細は各社ホームページまたは直接お問い合わせください。皆様のご参考になればと思います。（順不同）

- 経産省（学びを止めない未来の教室、Zoom 教育関係）：
https://www.learning-innovation.go.jp/covid_19/zoom/
- ライフサイズ社（クラウドサービス）
<https://pages.get.lifesize.com/remote-work-with-lifesize/>
- インタビューメーカー（Web 面接）
<https://interview-maker.jp/>
- ドコモシステムズ（Web 会議 sMeeting）
<https://ddreams.docomo-sys.co.jp/smeeting/>
- RSUPPORT(Web 会議 RemoteMeeting など)
<https://www.rsupport.com/ja-jp/>
- DialPad(クラウド PBX)
<https://www.dialpad.co.jp/>
- アバー・インフォメーション（デモ機など無償貸出し）
<https://jp.aver.com/>
- ブイキューブ（V-CUBE ミーティング、営業、教育、医療機関など）
<https://jp.vcube.com/>
- ベルフェイス（営業特化 Web 会議）
<https://bell-face.com/>
- プリンストン（クラウド会議サービス BlueJeans）
<https://www.princeton.co.jp/news/2020/03/202003101100.html>
- AloT クラウド（Web 会議）
<https://www.aiotcloud.co.jp/>
- ポリグロットリンク（遠隔通訳サービス、学校向け）
<https://polyglot-link.co.jp/>

- ギンガシステム（LoopGate for PC/Tablet）
<https://ginga-sys.jp/>
- シスコシステムズ（Web 会議 Webex）
https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/solutions/collaboration/webex/90days.html
- ネオキャリア（Web 会議 Calling）
<https://www.calling.fun/>
- meet in（Web 会議ミートイン、教育向け）
<https://meet-in.jp/>
- マルジュ（Web 面接 SOKUMEN）
<https://www.maru.jp/sokumen/>
- トラストバンク（自治体専用チャット LoGo）
<https://www.trustbank.co.jp/>
- ビジョン（ビジネス向け SNS ツール JANDI）
<https://vws-biz.com/jandi/>
- StarLeaf/メディアプラス
<https://www.starleaf.jp/>
- 日本アバイア（Avaya Spaces、教育機関・非営利）
（在宅コンタクトセンター）
<https://www.avaya.com/jp/>
- シャープマーケティング（TeleOffice）
<https://www.ideep.com/>
- DMM 英会話（Bellbird ビデオ通話サービス）
<https://eikaiwa.dmm.com/app/meeting>
- Vonage（Vonage Free Conferencing）
<https://freeconferencing.vonage.com/>
- ロゼッタ（遠隔会議上音声翻訳ツール）
<https://www.jukkou.com/lp/onvaku.html>
- ニューロネット（Web 会議 SaasBoard）
<https://www.neuronet.co.jp/>

* 6月15日現在で無償提供を終了しているところもあるかもしれません。個別にご確認ください。

PR

■ヤマハ株式会社



ユニファイド
コミュニケーション
スピーカーフォン YVC-200

<https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/yvc-200/index>

セミナー・展示会情報

<国内>

■バイキューブセミナー情報（6月～7月）

「いまさら聞けない Web 会議とテレビ会議の違い 選び方徹底解説セミナー」、「オフィスの「会議室足りない問題」に。スマートワークブース「テレキューブ」体験会」、「テレワーク環境をスムーズに整える秘訣とは？～安心してテレワークするための IT ツールガイド～」 など
会場：（Web セミナー）

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

■「POLY と MICROSOFT で実現する未来のワークスタイル」

日時：7 月 9 日（木）14:00～

会場：オンライン セミナー

主催：ポリコムジャパン株式会社、日本マイクロソフト株式会社

詳細・申込：https://connect.poly.com/APAC-JPN-MSFTPolyRoadshow--JA_LP.html

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月 2 回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999 年～最新号）は下記で閲覧できます。

<http://www.cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

CNAレポート・ジャパン 2020年6月15日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp